「農業と環境」

葉茎菜類の栽培

宮崎県立宮崎農業高等学校
兒　玉　政　光

授業の流れ　グループ分け

【課題設定】

〇ハクサイの一生・栽培計画
〇ハクサイの主な性質と形態
〇品種特性
〇種まきと育苗
〇施肥と耕運
〇植え付けの実際と植え付け後の作業（中耕・除草・追肥・土寄せ）
〇病害虫の管理
〇収穫と調整

【課題設定】

〇肥料の特性と施肥量の違いが苗の生育に及ぼす影響について
〇人口気象室（苗テラス）を利用した苗の生育の違いについて
〇植え付け時の株間の違いが生育に及ぼす影響について
〇ハクサイの品種特性による生育の違いについて
〇ハクサイの葉の発生について
〇ハクサイの外葉の役割について

生徒のハクサイの播種授業

生徒のハクサイの葉の発生についての授業

実験用ハクサイ播種

９／５（月）播種～

肥料の必要性について

肥料の特性（化成肥料）による生育の違いについて調査する（速効性肥料と緩効性肥料）

実験期間　９／１４（水）～１０／１７（月）

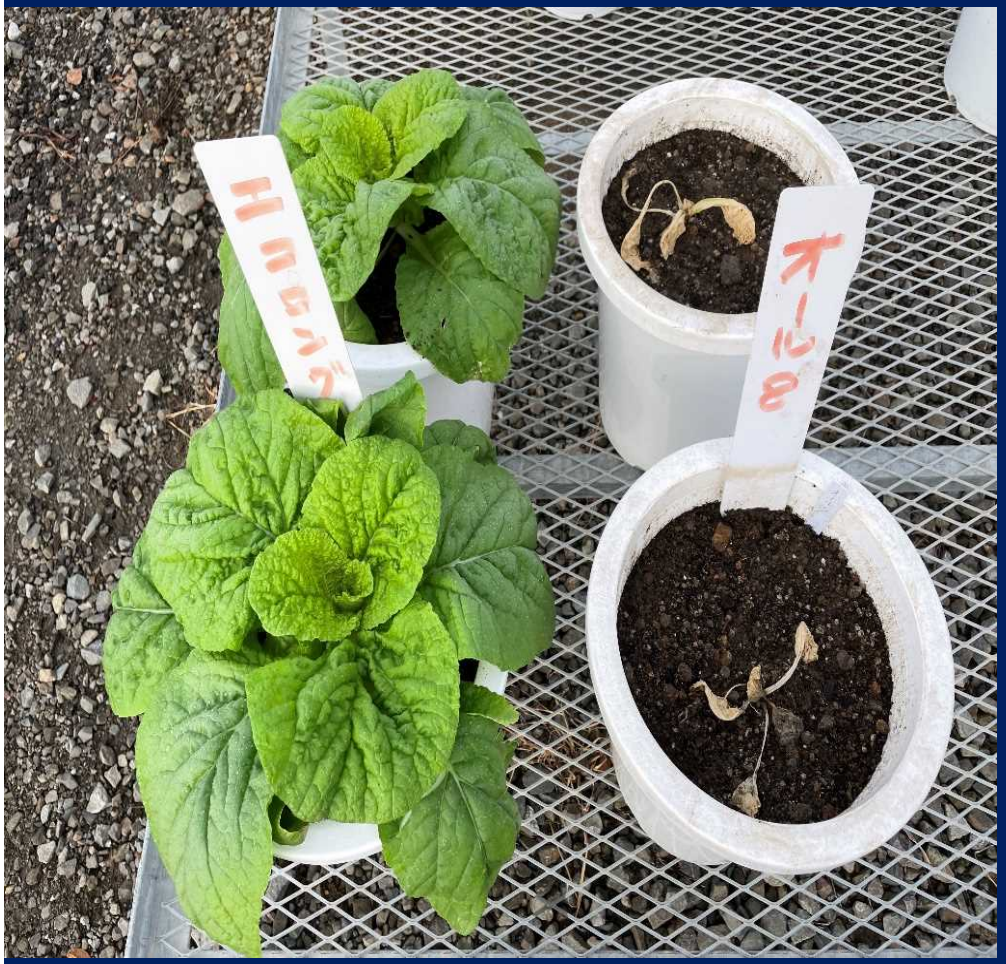
速効性肥料

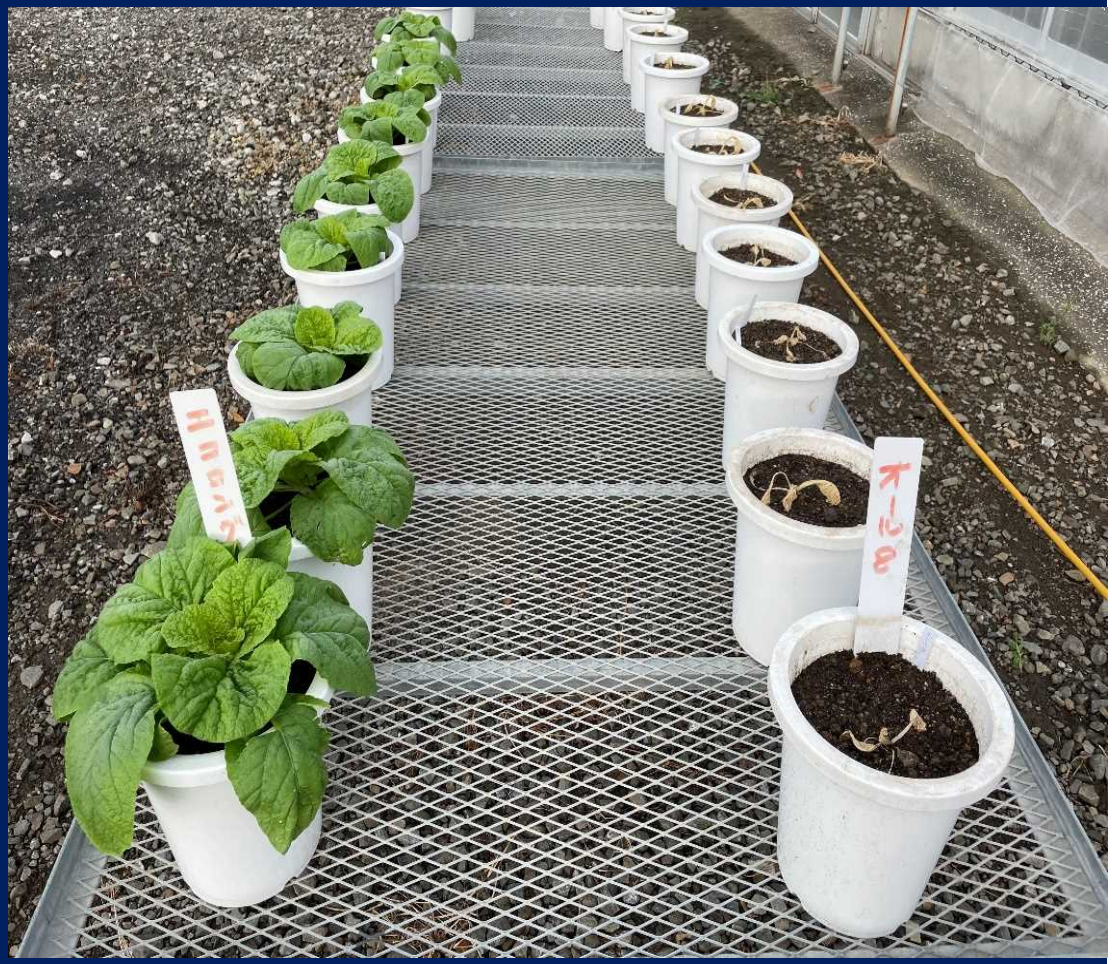
緩効性肥料

速効性肥料
緩効性肥料

9月26日（月）観察

エコロング肥料（緩効性肥料）とアグリ8肥料（速効性肥料）



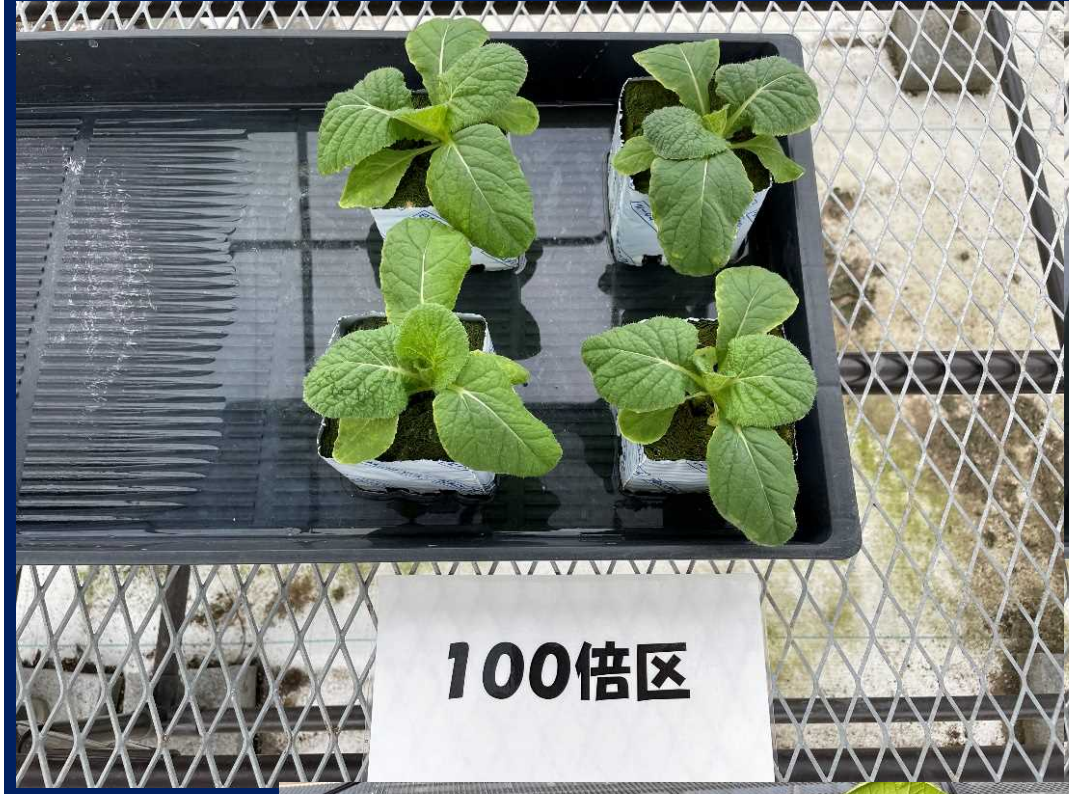


観察　　10／17（月）

施肥量の違いが苗の生育に及ぼす影響について調査する
（100倍液　500倍液　1000倍液で生育比較）

実験期間
９／21（水）～10／17（月）

9月28日（水）観察

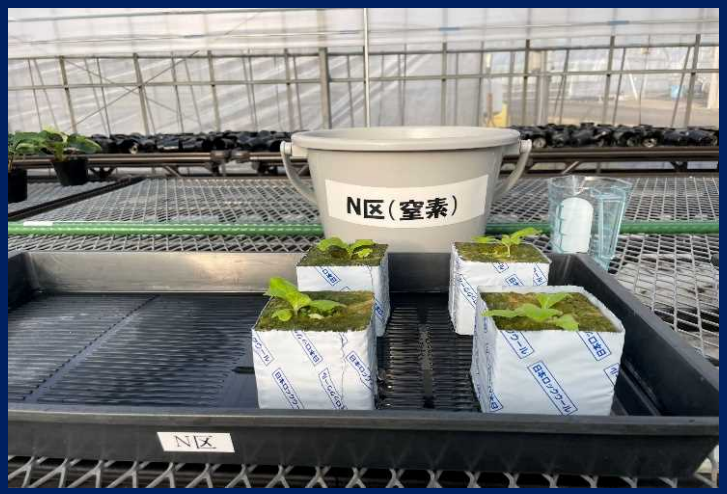


観察　　10／17（月）

肥料成分が生育に及ぼす影響について調査する

実験期間
9／21（水）～10／17（月）

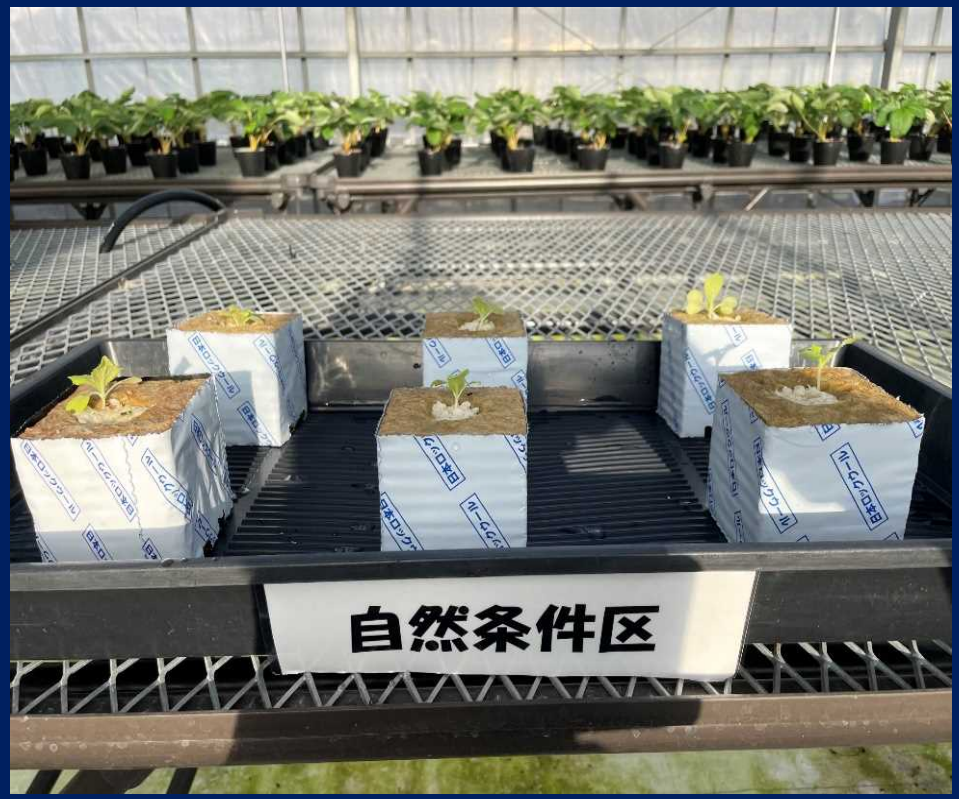
9月27日（火）観察



N区（窒素）
P区（リン酸）
観察10／17（月）
K区（カリウム）
NPK区
水　区
NPK区

人口気象室（苗テラス）と自然条件下での苗の生育の違いを調査する。

実験期間
9／21（水）～10／17（月）



10月4日（火）観察

人口気象室（苗テラス）温度：22℃設定
照明：6：30～22：00
自然条件下　温度：18℃～28℃
日の出：6：00～日没18：00

観察　10／17（月）

ハクサイの葉の発生について調査する。

ご黄げん65

消火器

ご黄げん９０

ハクサイの外葉の役割について調査する。

ご黄げん７５

ご黄げん75

株間の違いが生育に及ぼす影響について調査する

品種:ご黄げん65日　播種9/28　定植10/20

株間の違いが生育に
及ぼす影響について調査する

株 間
30cm

株間の違いが生育に及ぼす影響について調査する

株 間
40cm

株間の違いが生育に
及ぼす影響について調査する

株 間
50 cm

評価問題

課題2

ハクサイ種子の播種方法について答えなさい。

1）コーティング種子の播種方法を図示し、その方法と注意点を説明しなさい。

2）普通種子の播種方法を図示し、その方法と注意点を説明しなさい。

施肥の調査について答えなさい。

1）肥料特性の違いによって正常に育ったハクサイと4日後に枯れたハクサイについて、肥料を使用する場合、どのようなことに気を付けなければならないか説明しなさい。

2）肥料成分の違いによってその肥料の効果や重要性について考察しなさい。

評価に関わる資料

課題1

知識・技術　20	思考・判断・表現　20	主体的に取り組む態度 10
定期考査	定期考査	観察活動
実習活動	発表	実習活動
	レポート	記録
	プレゼンテーション	